

事業報告

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

事業の経過及びその成果

平成24年度のが国経済は、長期化する円高、海外経済の減速等の影響で、企業を取り巻く環境は総じて厳しい状況で推移いたしました。年明け以降は、政府の経済政策もあり、持ち直しの動きもみられました。

我が国の国内定期航空旅客数は、東日本大震災の影響から急速に回復し、前年比(暦年)9.4%の大幅増加となっております。

当空港におきましては、年度初めから関西国際空港に就航したLCC(格安航空会社)の本格稼働の影響が大きく、また九州新幹線の大幅増便もあり、乗降客数は年度約240万人(前年比△6.1%)となりました。

設備面では、コンコース・固定橋の増築およびPBB(旅客搭乗橋)の増設をすすめ、本年5月に竣工し、6月に供用開始いたしました。これにより、定時運行の確保、混雑緩和による快適性の向上等が期待されます。

集客面では、宝さがしや空の日、クリスマス、開港7周年など季節、時期に併せて魅力あるイベントを開催いたしました。

これらにより、旅客ターミナルビルの利用者総数は265万人、駐車台数は28万台、テナント各社の売上総額は1,494百万円となりました。

以上のような状況の中で、経費の削減にも努めた結果、当期の売上高は1,636百万円、営業利益は384百万円、当期純利益は186百万円となりました。

貸借対照表の要旨

(平成25年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
流 動 資 産	1,280	流 動 負 債	681
固 定 資 産	5,089	固 定 負 債	2,848
有 形 固 定 資 産	5,083	退 職 給 付 引 当 金	0
無 形 固 定 資 産	0	原 状 回 復 費 用 引 当 金	21
投 資 そ の 他 の 資 産	5	そ の 他	2,825
		株 主 資 本	2,913
		資 本 金	1,726
		資 本 剰 余 金	423
		資 本 準 備 金	423
		利 益 剰 余 金	764
		そ の 他 利 益 剰 余 金	764
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 72
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 72
資 産 合 計	6,370	負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,370

損益計算書の要旨

(自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業収益	1,636
営業費用	1,251
営業利益	384
営業外収益	1
営業外費用	83
経常利益	302
特別利益	
特別損失	
税引前当期純利益	302
法人税, 住民税及び事業税	117
法人税等調整額	△ 1
当期純利益	186

24年度 有形固定資産の明細

(単位:百万円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得価額
有形 固定 資産	建 物	4,829	7	-	253	4,583	1,787	6,370
	構 築 物	280		-	38	242	266	509
	工具器具備品	25	1	-	7	19	190	209
	建設仮勘定	5	233	-	-	239	-	239
	計	5,140	243	-	299	5,083	2,244	7,328

当期増加額の主な内容は以下のとおりであります。

検査場検査機器増設工事
コンコース等増築工事

建物
建設仮勘定

3 百万円
233 百万円